

安全・安心に暮らせる「まち」を目指して

明けましておめでとうございます



成田市長
小泉一成

市民の皆様には、令和3年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

本市は、一昨年の台風により大きな被害を受け、さらに昨年は新型コロナウイルス感染症が流行し、市民の皆様には多くのご心配とご不便をおかけした一年でありました。

今年が発展の前触れの年といわれる丑年です。市民の皆様のご協力により、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つ年とし、次への発展に向けた一年としなければなりません。

また、延期となった東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、日本にとって記

念すべき年となります。本市においても大会の開催をさらなる発展の契機とし、成田空港などを活用した観光施策をはじめ、吉倉地区周辺まちづくり、新生成田市場の移転再整備などに取り組みまいります。また、経済の立て直しと感染症対策を両立した施策を一層推進し、市民の皆様が希望を持ち、そして安全・安心に暮らせる「まち」を目指して市政運営に全力で取り組んでまいります。

観光立市のさらなる推進

東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていることから、成田空港には世界各国から数多くの選手や観客が訪れます。

この絶好の機会を市内への観光客誘致へと結びつけるため、成田ブランドの醸成を図るとともに、都市ポランテアによる観光案内を行うなど、本市ならではの「おもてなし」により、国内外の皆様

に本市の魅力をPRしてまいります。また、成田祇園祭300年の記念すべき年となることから、関連する各種行事を実施し、東京オリンピック・パラリンピックの盛り上がりとの相乗効果により、さらなる観光客誘致に取り組みまいります。

スポーツ大会の誘致では、王貞治氏が理事長を務める世界少年野球推進財団との共催で、8月に「世界少年野球 Girls' Baseball Clinics 2021 成田大会」を開催する予定です。そして、昨年9月にラグビートップリーグで活躍するクボタスピアーズと連携協定を締結したことから、本市での公式戦の開催が予定されています。市民の皆様には、身近で迫力あるプレーを観戦していただけます。

今後も、ラグビーをはじめ各種スポーツを通じ、魅力あふれる事業を展開するとともに本市特有の地域資源を生かしたスポーツツーリズムを積極的に推進してまいります。

上空から見た成田駅周辺

日本の農水産物を世界に

日本の農水産物はアジアをはじめ海外で根強い人気があり、輸出額をさらに伸ばすことができます。令和2年上期は新型コロナウイルス感染症の影響が出る中でも、前年同期比で1・8パーセント増加しました。

そうした中、令和3年度の開場を目指し移転再整備を進めている新生成田市場は、市民の皆様への「食の台所」としての役割だけでなく、ワンストップ輸出拠点機能を備えた日本初の卸売市場となります。成田空港などの充実した交通ネットワークを最大限に活用できる立地を生かし、日本の農水産物の輸出拠点化に積極的に取り組んでまいります。

また、世界から愛される和食や日本の食文化は、I・E・T・R・O（日本貿易振興機構）などの調査でも、好きな外国料理や訪日前に期待し

ている事の1位に上がるほど、注目を集めています。このような情勢を好機に、空港を利用する国内外のお客様に対して、本市をはじめとする日本の農水産物の魅力を発信することで「食」によるにぎわいの創出を図ってまいります。

空港と共に持続的に発展していくまちづくり

アジアを中心とした旺盛な航空需要などにより、成田空港の航空旅客数は増加の一途をたどっていましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う出入国制限などにより、令和2年上期では、前年同期比で94パーセント減と過去最低となりました。

成田空港は過去にもSARSコロナウイルスや東日本大震災など幾度となく大きな困難に直面しましたが、その度に人々の英知と努力により克服し、V字回復を遂げてきました。今回のコロナ禍が収束した際には、必ずや航空需要は回復し、旅客数も増加していくものと考えています。

本市においても、空港と共に持続的に発展していくため、成田空港の更なる機能強化や国際医療福祉大学成田病院(付属病院)を核とした医療関連産業の集積などに伴

う新たな開発需要・人口増加に適切に対応し、都市機能や住環境の整備が図れるよう、吉倉地区周辺での新たなまちづくりなどに取り組んでまいります。

医療・福祉の安心したまちづくり

新型コロナウイルス感染症による国内の医療状況の逼迫と社会的責務を果たすという観点から、付属病院は昨年3月に前倒しで開院しました。現在も、従来から本市の地域医療を担っていただいていた成田赤十字病院と共に、新型コロナウイルス感染症対策の最前線に対応に当たっています。

本市にとって、付属病院の開院は、市民の皆様が身近な所で先進的で高度な医療が受けられるようになるほか、地域の医療機関などとの連携が図られることで、医療環境が一段と向上し、安心して暮らせるまちづくりの一層の推進につながるものと確信しています。

高齢化が進む我が国は、2025年には団塊の世代の約800万人が75歳以上の後期高齢者となり、超高齢社会がさらに加速します。

本市の高齢化率は、全国・県内の平均と比べると比較的低い数値ですが、今後、特に後期高齢者数

の増加率が全国平均を上回ると予測されています。さらに団塊ジュニア世代が65歳以上の前期高齢者となる2040年を見据えた対応も求められています。そのため、特別養護老人ホームなどの介護施設や地域密着型サービス事業所の整備、介護の資格取得のための費用助成や介護職員の定着支援などのため「介護版なりた手当」を新たな施策として検討し、さらなる介護サービスの基盤整備を進めてまいります。

教育体制の整備、子育て世代に魅力あるまちづくり

令和3年度に、大栄地区の5つの小学校と1つの中学校を統合し、本市で2校目となる義務教育学校「大栄みらい学園」が開校します。義務教育の9年間を見通し、途切れることのない一貫した指導方針での連続した学びを実現することにより、教育の充実を図ってまいります。

また、女性の社会進出などに伴い、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しており、子育てを社会全体で支援していくことが必要となつていきます。

そこで、大栄みらい学園の開校に伴い校舎内に児童ホームを整備

します。また、保育を必要とする全ての児童が保育園などに入所できるよう、認定こども園などを整備している法人に対して整備費の一部を補助するなど、保育の受け皿の拡大を図っているところです。子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から出産・子育て期の総合相談窓口として切れ目のない支援を行っており、本年4月から、対象となる期間を産後4カ月未満から産後1年未満まで延長することに、子育て世代への支援体制の充実を図ってまいります。

東京オリンピック・パラリンピックの開催は、コロナ禍の中、日本中に大きな感動と活力を与えてくれるものと確信しております。本市出身でオリンピックの代表選手に内定している女子ボクシングの並木月海さんや体操の有力候補である橋本大輝さんの大会での活躍を期待し、市を挙げて応援してまいります。

私もこれらの選手に負けないよう未来に向けて輝かしく発展し続けるまちを目指し、全力で取り組んでまいります。

本年も市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。



建設中の新生成田市場